



## 新しい制服の導入スケジュール等が決まりました

- 1 新たな制服（ブレザータイプ）は**令和6年度**から着用できるようになります。
- 2 現在の詰襟やセーラー服は、**令和10年度**まで着用できます。

- 令和4年度**
- 12月 一緒に新しい制服を考えていただくメーカーを決定します。
  - 1月～3月 アンケートを実施したり、子どもたちに直接、意見を聞いたりして、具体的なデザインの案をつくります。色や柄など、**子どもたちが「この制服を着たい!」と思えるデザインを考えます。**
- 
- 令和5年度**
- 4月 デザイン投票を実施します。実物を見たり、触ったりできるようにすることはもちろん、ウェブ上で見ることができるような方法を考えています。
  - 5月 デザイン投票の結果をまとめ、最終デザインを決定します。決まったデザイン等（新制服の仕様書）を公表して、各メーカーや販売店が採寸へ向けた準備を始めます。
  - 秋冬 採寸等が始まります。新中2、3年生が購入して、令和6年4月から着用することも可能です。
- 
- 令和6年度**
- 4月 新たな制服が着用可能になります。また、令和10年度までは詰襟やセーラー服の着用もできますので、兄弟や卒業生の制服を有効活用することも可能です。

### ポイント① ブレザータイプ&スラックスとスカート選択可

詰襟は温かさはあるものの、襟元が少し窮屈であるとの声が多いです。また、セーラー服は首回りの防寒性と着脱が難しい形状を課題として指摘する声が多いです。

ブレザータイプは、着脱が容易であり、気温に応じて簡単に脱いだり、着たりすることができます。また、スラックスやスカートを自由に選択しやすいデザインです。

ブレザータイプの制服を新たに導入することで、生徒が自分の判断で着こなしを選ぶことができるようになります。



## ポイント② ワイシャツとポロシャツを選べます。

ブレザーの下に着用するのは、ワイシャツとポロシャツから選ぶことができます。保護者の方のポロシャツを希望する声が多かったため、新たに導入することにしました。

夏用のセーラー服は1枚7~8,000円ですが、長袖と半袖を2枚ずつ購入すると、30,000円くらいになります。ワイシャツやポロシャツの採用により、この負担を大きく減らすことができます。

ワイシャツもポロシャツも、速乾性素材やノーアイロン素材など、様々な機能性のあるシャツが販売され始めています。細かなデザインの制限なく自由に選ぶことのできるような仕組みを考えています。



**Q1** ワイシャツもポロシャツも指定品ですか？

**A1** いいえ、**ワイシャツとポロシャツは指定品としません**。現在の詰襟の下に着用しているワイシャツと同様の取扱いです。ポロシャツはモデルとなるものを示しますので、それに準じたものを各衣料販売店等でお求めください。

**Q2** ネクタイやリボンは付くのですか？

**A2** ネクタイやリボンは落ち着きや華やかさを見せることに効果的ではありますが、導入した学校では、暑さや窮屈さなどを理由に、「付けたくない」という声が挙がっているようです。価格についても、1つ2,000円前後することもありますので、市全体での導入は見送りました。よって、**市全体で導入するのはブレザーとスラックス、スカートのみ**です。

ただし、「場面に応じて着用が必要では？」や「学校の特色として導入しては？」という声もありますので、学校単位で導入する可能性はあります。

**Q3** ブレザーとスラックス(スカート)の価格はどれくらいですか？

**A3** 現在の詰襟は、2万円台から4万円台まで価格帯に大きな幅があります。これは、その素材や機能性の違いによるものです。

新たなブレザーにおいても、**一律に価格を決めるのではなく、素材や機能性に応じて、様々な価格帯の商品が販売されることを想定**しています。各販売店同士の自由競争によって、より低価格で販売されたり、よりよいサービスを付加されたりすることにつながることを期待しています。



3年間、毎日着ることを考えれば、丈夫な素材が一番だと思う。途中で傷んでしまう方が出費が辛いのでは？

成長期だから、身長が伸びてすぐに着られなくなる。安いものを選んで、買い替えた方が経済的だと思う。



Q4 どのような機能がつくのですか？

A4 機能性を求めすぎると、低価格帯の制服が取り扱われなくなってしまいますので、最低限の機能を必須要件として示す予定です。  
アンケート結果で要望が多かったことはできる限り反映させたいと考えています。

### BEST 3

- 洗濯できる
- 夏涼しく、冬温かい
- 耐久性がある

### ポイント③ 新たな制服の導入に合わせて各校が校則の見直しを開始します。

新たな制服の導入に合わせて、学校の様々な校則の見直しが必要です。  
例えば、多くの学校では、セーターは詰襟やセーラー服から見えてはいけないという校則を定めていますが、これでは、微妙な体温調整ができません。  
「夏はエアコンの風が当たって寒い」という生徒の意見もありました。  
例えば、右の図のように、セーターやベストを着用して、腹部の冷えを防止するなどができるようにするなど、生徒1人1人の感じ方に応じた服装を選べるのが重要です。  
その他、生徒や保護者の皆様からいただいた校則への意見を、もとに、学校には校則の見直しを要請します。



#### いただいたご意見

- ・衣替えの期間は不要では？
  - ・靴下や下着の色はなぜ白でなければならないの？
  - ・どうして髪型が制限されるの？
- など



各学校で校則の見直し

Q5 学校の校則はいつ頃から変わりますか？

A5 学校ごとにスケジュールは異なりますが、すでに、衣替えの期間を撤廃したり、靴下の色を広げたりと見直しを始めている学校もあります。  
掛川市教育委員会では、近日中に「掛川市立学校の校則見直しに関するガイドライン」を策定する予定です。学校間の情報共有を図りながら、スピード感ある対応を求めています。

**新たな制服デザインの考案状況はHPで発信していきます！**



終了しました。  
ありがとうございました。  
意見フォーム